

目次

保健科学部

＜作業療法学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	10
4. 既設大学等の状況	12
5. 教員組織の状況	13
6. 附帯事項等に対する履行状況等	41
7. その他全般的事項	43

5 教員組織の状況

<保健科学部 作業療法学科>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】		【令和3年度】	
専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
職名	担当授業科目名	職名	担当授業科目名
専 教授	五百川 和明 <令和3年4月> 博士(障害科学) 修学基礎セミナー※ リハビリテーション概論※ チーム医療Ⅰ(概論)※ チーム医療Ⅱ(演習)※ 作業療法概論※ 国際作業療法論※ 卒業研究 作業療法管理学 身体障害作業療法学※ 日常生活活動学 作業療法総合演習※ 臨床技能実習Ⅱ※ 臨床技能実習Ⅲ※ 身体障害作業療法学特論※ 地域生活・社会参加支援論※ 臨床実習Ⅰ 臨床実習Ⅱ 臨床実習Ⅲ 臨床実習Ⅳ 臨床実習Ⅴ	専 教授	五百川 和明 <令和3年4月> 博士(障害科学) 修学基礎セミナー※ リハビリテーション概論※ チーム医療Ⅰ(概論)※ チーム医療Ⅱ(演習)※ 作業療法概論※ 国際作業療法論※ 卒業研究 作業療法管理学 身体障害作業療法学※ 日常生活活動学 作業療法総合演習※ 臨床技能実習Ⅱ※ 臨床技能実習Ⅲ※ 身体障害作業療法学特論※ 地域生活・社会参加支援論※ 臨床実習Ⅰ 臨床実習Ⅱ 臨床実習Ⅲ 臨床実習Ⅳ 臨床実習Ⅴ
専 教授	林 博史 <令和3年4月> 博士(医学) 修学基礎セミナー※ 生理学実習※ 臨床心理学※ リハビリテーション医学※ 精神医学 脳・神経内科学※ 老年学※ 小児科学※ 臨床技術基礎演習※ リハビリテーション概論※ チーム医療Ⅱ(演習)※ 卒業研究 精神障害作業療法学※ 高次脳機能障害作業療法学※ 作業療法総合演習※ 認知症・介護予防作業療法論演習※ 作業療法発展領域論※	専 教授	林 博史 <令和3年4月> 博士(医学) 修学基礎セミナー※ 生理学実習※ 臨床心理学※ リハビリテーション医学※ 精神医学 脳・神経内科学※ 老年学※ 小児科学※ 臨床技術基礎演習※ リハビリテーション概論※ チーム医療Ⅱ(演習)※ 卒業研究 精神障害作業療法学※ 高次脳機能障害作業療法学※ 作業療法総合演習※ 認知症・介護予防作業療法論演習※ 作業療法発展領域論※
専 教授	倉澤 茂樹 <令和3年4月> 博士(医学) 人間発達学※ リハビリテーション概論※ チーム医療Ⅱ(演習)※ 作業療法概論※ 作業療法研究法演習※ 卒業研究 発達障害作業療法評価学演習※ 発達障害作業療法学 発達障害作業療法学演習※ 作業療法総合演習※ 臨床技能実習Ⅱ※ 臨床技能実習Ⅲ※ 作業療法発展領域論※ 地域作業療法実習 臨床実習Ⅰ 臨床実習Ⅱ 臨床実習Ⅲ 臨床実習Ⅳ 臨床実習Ⅴ	専 教授	倉澤 茂樹 <令和3年4月> 博士(医学) 人間発達学※ リハビリテーション概論※ チーム医療Ⅱ(演習)※ 作業療法概論※ 作業療法研究法演習※ 卒業研究 発達障害作業療法評価学演習※ 発達障害作業療法学 発達障害作業療法学演習※ 作業療法総合演習※ 臨床技能実習Ⅱ※ 臨床技能実習Ⅲ※ 作業療法発展領域論※ 地域作業療法実習 臨床実習Ⅰ 臨床実習Ⅱ 臨床実習Ⅲ 臨床実習Ⅳ 臨床実習Ⅴ
専 教授	菅根 稔雅 <令和3年4月> 博士(医学) リハビリテーション概論※ 作業療法概論※ 国際作業療法論※ 卒業研究 老年期障害作業療法学 老年期障害作業療法学演習※ 作業療法総合演習※ 臨床技能実習Ⅱ※ 臨床技能実習Ⅲ※ 認知症・介護予防作業療法論演習※ 地域生活・社会参加支援論※ 地域作業療法学 地域作業療法学演習※ 臨床実習Ⅰ 臨床実習Ⅱ 臨床実習Ⅲ 臨床実習Ⅳ 臨床実習Ⅴ	専 教授	菅根 稔雅 <令和3年4月> 博士(医学) リハビリテーション概論※ 作業療法概論※ 国際作業療法論※ 卒業研究 老年期障害作業療法学 老年期障害作業療法学演習※ 作業療法総合演習※ 臨床技能実習Ⅱ※ 臨床技能実習Ⅲ※ 認知症・介護予防作業療法論演習※ 地域生活・社会参加支援論※ 地域作業療法学 地域作業療法学演習※ 臨床実習Ⅰ 臨床実習Ⅱ 臨床実習Ⅲ 臨床実習Ⅳ 臨床実習Ⅴ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	鈴木 雄一 <令和4年4月> 博士(医学)	兼任	講師	鈴木 雄一 <令和4年4月> 博士(医学)
		小児科学※			小児科学※
兼任	講師	川瀬 友貴 <令和5年4月> 学士(医学)	兼任	講師	川瀬 友貴 <令和5年4月> 学士(医学)
		がんリハビリテーション学※			がんリハビリテーション学※
兼任	講師	松本 貴智 <令和3年4月> 修士(社会学)	兼任	講師	松本 貴智 <令和4年4月> 修士(社会学)
		コミュニケーション論※ 臨床心理学※			コミュニケーション論※ 臨床心理学※
兼任	講師	関野 啓史 <令和5年4月> 学士(医学)	兼任	講師	関野 啓史 <令和5年4月> 学士(医学)
		画像医学※			画像医学※
兼任	講師	藤巻 秀樹 <令和5年4月> 学士(医学)	兼任	講師	藤巻 秀樹 <令和5年4月> 学士(医学)
		画像医学※			画像医学※
兼任	講師	長谷川 靖 <令和5年4月> 学士(医学)	兼任	講師	長谷川 靖 <令和5年4月> 学士(医学)
		画像医学※			画像医学※
兼任	講師	黒岩 大地 <令和5年4月> 学士(医学)	兼任	講師	黒岩 大地 <令和5年4月> 学士(医学)
		画像医学※			画像医学※
兼任	講師	安田 恵 <令和6年4月> 学士(医学)	兼任	講師	安田 恵 <令和6年4月> 学士(医学)
		チーム医療Ⅱ(演習)※			チーム医療Ⅱ(演習)※
兼任	講師	箱崎 元晴 <令和5年4月> 学士(医学)	兼任	講師	箱崎 元晴 <令和5年4月> 学士(医学)
		画像医学※			画像医学※
兼任	講師	小川 洋 <令和4年4月> 博士(医学)	兼任	講師	小川 洋 <令和4年4月> 博士(医学)
		リハビリテーション医学※			リハビリテーション医学※
兼任	講師	西嶋 剣一 <令和4年4月> 博士(薬学)	兼任	講師	西嶋 剣一 <令和4年4月> 博士(薬学)
		薬理学※			薬理学※
兼任	講師	西山 篤 <令和3年4月> 修士(工学)	兼任	講師	西山 篤 <令和3年4月> 修士(工学)
		医用工学※ 医用工学実験※			医用工学※ 医用工学実験※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	田中 明 <令和3年4月> 博士(工学)	兼任	講師	田中 明 <令和3年4月> 博士(工学)
		医用工学※ 医用工学実験※			医用工学※ 医用工学実験※
兼任	講師	山田 昭博 <令和4年4月> 博士(医工学)	兼任	講師	山田 昭博 <令和4年4月> 博士(医工学)
		医用工学実験※			医用工学実験※
兼任	講師	山口 克彦 <令和4年4月> 博士(理学)	兼任	講師	山口 克彦 <令和4年4月> 博士(理学)
		医用工学実験※			医用工学実験※
兼任	講師	鈴木 健司 <令和4年4月> 博士(理工学)	兼任	講師	鈴木 健司 <令和4年4月> 博士(理工学)
		医用工学実験※			医用工学実験※
			兼任	講師	黒田 純子 <令和3年4月> 学士(薬学)
					予一ム医療I(概論)※

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和3年度】

- ・兼任黒田純子講師が就任し「チーム医療Ⅰ（概要）」の一部を担当、兼任石井重亮講師の担当部分を一部変更。
- ・兼任馬場一晴講師が就任し「物理学Ⅱ」の一部を担当、兼任反町篤行准教授の担当部分を一部変更。
- ・兼任坪井聡准教授の辞任に伴い、「疫学・公衆衛生学」における兼任江口（大平）依里講師の担当部分を一部変更。

【令和4年度】

【令和5年度】

【令和6年度】

- (注)
- ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（令和元年度開設であれば平成30年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
8	4
名	名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一により算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
4	2	4	5	15	0	4	2	4	3	11	0
(4)	(2)	(2)	(3)	(11)	(0)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
4	2	2	5	15	0	4	2	4	5	15	0
[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「**現在（報告時）の完成年度時の状況**」には、「**現在（報告時）の状況**」に記入した数字に、**教員審査を受理済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入**するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{15}{15} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{0}{11} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
合計 (D)						後任補充状況の集計 (E)				
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、**赤字**にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
合計 (F)						後任補充状況の集計 (G)				
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)			後任補充状況の集計 (E) + (G)								
辞任等した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)			②の合計数 (b)			③の合計数 (c)		
0 人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	
	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	
	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{0}{15} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和2年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

人

(注) ・ (3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。

(3) - ⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
合計				後任補充状況の集計						
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び () 書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する (している) 場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する (している) 場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 上記 (3) の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画	
認 可 時 (令和2年)	ディプロマ・ポリシーにおける「福島県の地域医療や災害医療」に対応する各科目において、シラバスの概要や各回のテーマに当該内容を教授する旨を明確に記載すること。	<p>ディプロマ・ポリシーにおける「福島県の地域医療や災害医療」に対応させた以下の科目について、シラバスの概要や各回の授業内容を修正した。【資料1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 福島県の医療環境 ・ 環境と放射線 ・ 放射線医学概論 ・ 危機管理学 ・ 災害リハビリテーション論 ・ 地域作業療法学演習 ・ 地域生活・社会参加支援論 ・ 臨床実習 I～V 	履行済	
認 可 時 (令和2年)	「侵襲を伴う等の研究を行う場合」は倫理審査を受けることとしているが、侵襲の有無に限るのではなく、「人を対象とする研究を行う場合」とし、広く倫理審査を受ける研究体制とすることが望ましい。	<p>附帯事項を踏まえ、倫理委員会での倫理審査を要する研究を以下のとおり定めた「福島県立医科大学保健科学部における卒業研究に関する基本的な考え方（指針）」を策定することについて検討している。【資料2】</p> <p>（倫理委員会での倫理審査を要する研究）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 対象者のプライバシーに関して、一定以上の開示を求める研究。 ・ 情報が漏洩した場合、かなりの被害が発生することが予想される場合。 ・ 研究方法の一部に、完全に安全であると断言できない手法が含まれている場合（身体への過剰な負荷や採血などの侵襲など）。 <p>また、倫理委員会での倫理審査の他、各学科においても、遵守すべき倫理項目の確認を行うこととする。</p>	履行中	「福島県立医科大学保健科学部における卒業研究に関する基本的な考え方（指針）」を策定する。

<p>認可時 (令和2年)</p>	<p>運動場及び体育館が別地にあることから、教育に支障のないようにすることはもとより、学生の課外活動等に配慮すること。</p>	<p>遵守事項</p>	<p>保健科学部のメインキャンパスである福島駅前キャンパスから光が丘キャンパスへの移動が生じる授業科目については、授業時間に応じたシャトルバス運行を行うほか、移動時間に配慮した時間割としている。なお、運動場及び体育館を利用する授業科目は計画していない。 また、現在は新型コロナウイルス感染防止のため課外活動が制限されているが、活動が通常どおりに開始された場合、夕方から夜間にかけても定期運行を行うこととしている。</p>	<p>履行中</p>	<p>計画どおりにシャトルバス運行を行い、教育に支障のないようにすることはもとより、他学部の学生とともに課外活動を行えるような環境を整備する。</p>
-----------------------	---	-------------	--	------------	---

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<保健科学部 作業療法学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
	該当なし

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

福島県立医科大学保健科学部ファカルティ・ディベロップメント委員会要綱

(趣旨)

第1条 この要綱は、福島県立医科大学保健科学部ファカルティ・ディベロップメント委員会（以下「委員会」という。）の組織及び運営に関して必要な事項を定めるものとする。

(組織等)

第2条 委員会は、保健科学部の教員若干名からなる委員をもって組織する。

2 前項に掲げる委員は、保健科学部教授会（以下「教授会」という。）の議を経て学部長が選任する。

3 委員の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、委員に欠員が生じたときはこれを補充し、その任期は前任者の残任期間とする。

(所掌事項)

第3条 委員会は、次に掲げる教員の質の向上に関する事項を審議する。

(1) 新任教員のオリエンテーション・プログラムの作成と実施に関すること。

(2) 教員研修の計画の作成と実施に関すること。

(3) その他、教員の教育能力の向上・開発に関すること。

(委員長及び委員会の招集)

第4条 委員会に委員長及び副委員長を置く。

2 委員長及び副委員長は、委員の互選により選出する。

3 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。

4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるときはその職務を代理する。

(委員以外の者の出席)

第5条 委員会は、必要に応じて委員以外の者を出席させ、意見等を聴取することができる。

(結果の報告)

第6条 委員会の審議結果は、教授会に随時報告をする。

(庶務)

第7条 委員会の庶務は、事務局保健科学部事務室において行う。

附 則

この要綱は、令和3年4月1日から施行する。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

上記のとおり、学部開設となる令和3年4月1日より、保健科学部ファカルティ・ディベロップメント委員会（以下、保健科学部FD委員会という。）を設置した。令和3年5月に第1回委員会を予定している。

なお、令和3年4月1日に新任教員オリエンテーションを開催するため、保健科学部の設置準備に従事していた教員から委員予定者を決定し、事前にFDIに関する打合せ等を行い企画・実施を担った。

c 委員会の審議事項等

・ 新任教員のオリエンテーション・プログラムの作成と実施に関すること。

・ 教員研修の計画の作成と実施に関すること。

・ その他、教員の教育能力の向上・開発に関すること。

② 実施状況

a 実施内容

- ・新任教員オリエンテーション
- ・FD研修会（年2回程度を予定）

b 実施方法

保健科学部FD委員会が企画・実施を担う。

FD研修会ではアンケートを実施することで参加教員の意見を次回の研修会に活かす。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

令和3年4月1日に新任教員オリエンテーションを開催し、39名が参加した。

※対象者は本学新着任の専任教員を中心とした20名であり、全員が参加した。
そのほか、令和2年度以前より学内で学部設置に携わっていた専任教員も参加し計39名となった。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

今後FD研修会を実施する。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

前期・後期のそれぞれの終了時に授業科目ごとに実施

b 教員や学生への公開状況、方法等

教務委員会で集計結果の集計及び分析を行い、教育や授業の改善に役立てるとともに、集計結果については学内システム（教務システム）において学生・教職員が閲覧できるようにする。

（注）・「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（3）教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

<p>① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見</p> <p>保健科学部では、豊かな人間性と倫理観を備え、生涯にわたり知識や技術を学び続ける意欲を持ち、併せて、地域社会に貢献できる専門医療技術者を育成することを目的としている。その目的の下、作業療法学科において養成する人材像は、「倫理観と体系的な専門的知識・技術、コミュニケーション能力を用いて、対象者やその家族、多職種と連携し、対象者の生活支援を実現できる作業療法士」、「自己研さんに努め、保健・医療・福祉の発展に寄与する作業療法の研究を継続し、福島県の地域医療や災害医療に貢献できる人材」である。</p> <p>開設初年度である令和3年度は1年次科目のみの開講であるが、設置計画のとおり、教養教育科目を中心としつつも早期から専門教育に関わる科目を受講し、学修意欲や自覚を高める科目配置としている。4月には、教養教育科目のうち「初年次科目」として位置づけた「福島県を知る」や「修学基礎セミナー」を開講し、大学生活を送る福島県についての理解を深めるとともに、大学での学びに対する意欲や学修の仕方について学んだ。また、専門科目として1年前期から配置している「医学概論」や「リハビリテーション概論」、「解剖学概論」等についても計画どおりに開講する。</p> <p>学生確保については、学校推薦型選抜の受験倍率が1.81倍、一般選抜が1.04倍であったが、一般選抜において入学辞退者がいたことにより入学定員超過率が0.95倍となった。今回の結果を保健科学部入学者選抜委員会等において分析し、アドミッション・ポリシーに適合した入学者により定員を充足させることができるよう選抜方法等を検討していく。学生確保に向けた取り組みについても、学部、学科の設置の趣旨や目的がより周知されるよう保健科学部広報委員会等において検討していく。</p>
<p>② 自己点検・評価報告書</p> <p>a 公表（予定）時期</p> <ul style="list-style-type: none">・業務実績報告書 毎年6月 公表・自己評価書 平成29年6月 公表 <p>b 公表方法</p> <ul style="list-style-type: none">・大学ホームページ上に公開
<p>③ 認証評価を受ける計画</p> <p>(専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院については、機関別認証評価と分野別認証評価それぞれの受審計画について記載してください。)</p> <ul style="list-style-type: none">・平成29年度に評価機関（独立行政法人大学改革支援・学位授与機構）による大学機関別認証評価を受審し、大学設置基準をはじめ関係法令に適合し、同機関が定める大学評価基準を満たしていると認定された。その結果は大学ホームページ上に公開している。・次回の大学機関別認証評価は令和6年度を予定している。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

<p>○ 設置計画履行状況報告書（令和3年度）</p> <p>a 公表予定の有無 [<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無]</p> <p>≪ aで「有」の場合 ≫</p> <p>b 公表（予定）時期 [<input checked="" type="checkbox"/> 調査結果公表後1ヶ月以内 ・ <input type="checkbox"/> 公表後2～3ヶ月以内 ・ <input type="checkbox"/> 公表後3ヶ月以降]</p> <p>c 公表方法 [<input checked="" type="checkbox"/> ウェブサイトへの掲載 ・ <input type="checkbox"/> その他 ()]</p> <p>≪ aで公表「無」の場合 ≫</p> <p>d 公表しない理由 []</p>

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト上に公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。